

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第89回）議事概要

1 日時 平成24年10月19日(金) 15時00分～15時58分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員等（敬称略）

坂内 正夫（分科会長）、徳田 英幸（分科会長代理）、相田 仁、青木 節子、荒川 薫、伊東 晋、近藤 則子、鈴木 陽一、野間 省伸、服部 武、廣崎 膨太郎、前田 香織、藤原 修

（以上13名）

(2) 総務省

（情報通信国際戦略局）

久保田総括審議官、田中技術政策課長

（情報流通行政局）

南官房審議官、吉田総務課長、野崎放送技術課長

（総合通信基盤局）

武井電波部長、安藤総務課長、竹内電波政策課長、丹代電波環境課長

(3) 事務局

松村情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長

4 議 題

(1) 答申事項

ア.「国際無線障害特別委員会（C I S P R）の諸規格について」のうち「広帯域電力線搬送通信設備の屋外利用に係る許容値及び測定法」について【昭和63年9月26日付け 電気通信技術審議会諮問第3号】

審議の結果、電波利用環境委員会から提出があった報告書のとおり、一部答申することとした。

【内容】

本件は、これまで屋内の利用に限定されていた広帯域電力線搬送通信について、同一の分電盤の屋内側、同一の敷地内の屋外利用における許容値及び測定法について検討を行ったもの。

イ.「国際無線障害特別委員会（C I S P R）の諸規格について」のうち「C I S P Rバンコク会議 総会対処方針」について【昭和63年9月26日付け 電気通信技術審議会諮問第3号】

審議の結果、電波利用環境委員会から提出があった報告書のとおり、一部答申することとした。

【内容】

本件は、本年11月5日からタイのバンコクにおいて開催が予定されている第37回C I S P R総会における対処方針について審議を行ったもの。

(2) 報告事項

「放送システムに関する技術的条件について」のうち「放送事業用無線局の高度化のための技術的条件」に関する検討開始について【平成18年9月28日付け 情報通信技術分科会諮問第2023号】

放送事業に用いる無線局のうち、報道番組やマラソン等の中継に用いられるF P Uについて、周波数再編により800MHz帯から1.2GHz帯及び2.3GHz帯へ移行することが求められていることから、移行先周波数において高品質かつ安定的に利用可能とするための技術的条件について検討を開始したことについて報告を行った。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 安藤、奥石

電話 03-5253-5957

FAX 03-5253-6063

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。